

常任委員会・分科会(予算決算常任委員会)の審査概要

総務

委員長 副委員長
委員 委員 委員
員 員 員

後藤 濱元 来海 青山 後藤
幸 幸 幸 幸 幸
祐一 恵 隆 修
監 二 郎 子 幸 一

【委員会】 合志市フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の制定

- 問** 現在の一般職非常勤職員にフルタイム勤務の人はいるのか。また、新制度での希望者もいないのか。
- 答** 現在の一般職非常勤職員は、常勤職員の勤務時間の4分の3以内で任用しているので、フルタイム勤務の職員は少ない。本人の希望によりフルタイムやパートタイムの選択ではなく、現在の勤務内容、条件によるスムーズな新制度への移行を考えている。

【分科会】 令和元年度合志市一般会計補正予算(第2号)

財政課

- 問** ふるさと納税の運営委託先は何力所あるのか伺いたい。
- 答** ふるさと納税の委託先は、楽天とトラストバンクの2事業所である。

平成30年度合志市一般会計歳入歳出決算

総務課

- 問** 消費生活センター運営事業において、平成30年度の相談件数410件の相談内容の傾向は
- 答** 高齢者が半数以上を占めており、振り込み詐欺や訪問

販売に関する相談が多い。

交通防災課

- 問** ゾーン30についての効果と今後の取組みについてはどう考えているか。
- 答** 交通事故の大半は自宅から500m以内の生活道路で起きているため、ゾーン30規制を行なうと明らかに交通事故及び死亡事故の減少について効果がある。今後の取組みについては、永江団地区のゾーン30を他の行政区に見ていただき、ビッグデータの比較を基に交通問題に悩む行政区があれば、行政区、市、県警察とで協議を行ない対応していきたい。



環境衛生課

- 問** 不法投棄対策事業において、不法投棄の処分量は昨年よりも増加している。どのような理由で投棄が増えているのか。
- 答** 家電リサイクル法ができ、処分する際に費用がかかるようになったことに加え、テレビが薄型になり、不法投棄されやすくなったため。

文教経済

委員長 副委員長
委員 委員 委員
員 員 員

辻 齋藤 上野 吉野 西
大 正 欣 健 正
昭 也 司 一 隆 博

【委員会】 平成30年度合志市工業用水道事業会計利益の処分及び決算

水道課

- 問** 現在の工業用水道のキャパシティ、契約水量などはどのくらいか。
- 答** 平成30年度末時点で給水の企業数は7件、配水能力は1日当たり2,300㎡、契約水量は1日当たり2,154㎡となっており、契約率は93.65%となっている。

【分科会】 令和元年度合志市一般会計補正予算(第2号)

商工振興課

- 問** 公有財産購入予定の『テクノフロンティア熊本』については、購入後の払い下げ先は決まっているのか。
- 答** 興味を示されている



企業が数社あり、入札等の手続きにより入居者を決めていく予定である。

平成30年度合志市一般会計歳入歳出決算

農政課

- 問** 昨年度の農用地区域の除外件数は何件か。また、農振計画の見直しは予定しているのか。
- 答** 池尻地区及び栄工業団地予定地等3カ所の農用地区域除外を行なった。また、農振計画は、都市計画マスタープランに併せ全体計画の見直しを行ないたい。

学校教育課

- 問** 小中学校に導入された電子黒板等について、先生によって使い方に差が出ているのではないかと。
- 答** 毎年、夏休みに使い方の研修を行なっている。デジタル教科書を利用し、資料の拡大や提示が容易にでき、授業に対する理解は深まっている。学校を訪問して授業の様子を確認したが、先生方が非常に多くの場面で活用している。

健康福祉

委員長 副委員長
委員 委員 委員
員 員 員

永坂青澤松
清本木田井
和正早照雄
寛洋苗美津

【委員会】 合志市地域福祉基金条例の一部を改正する条例

- 問** 基金の利用用途について
- 答** 福祉施設の老朽化に伴う改修に活用する。

【分科会】 令和元年度合志市一般会計補正予算(第2号)

健康づくり推進課

- 問** 少子化対策総合交付金事業とは
- 答** 結婚チャレンジ補助金・一般不妊治療費助成・早産予防対策・市町村創意工夫事業・市町村事務費がある。

高齢者支援課

- 問** 地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金について
- 答** この交付金については、大阪地震に伴うものであり、ブロック塀が倒壊した事故を受け、倒壊の危険性のあるブロック塀の安全対策強化のため追加された。

平成30年度合志市一般会計歳入歳出決算

福祉課

- 問** 自立支援給付事業の中で、フロアマネージャーの報酬の業務内容について
- 答** 福祉課において1名雇用しており、福祉課の窓口の受

付業務を行なっている。

女性・子ども支援課

- 問** 女性・子ども支援課と学校との連携は図られているか。
- 答** 要保護児童対策地域協議会の一つとして学校と情報共有する連絡会を月一回実施し、学校との連携を図っている。

保険年金課

- 問** 国保会計繰出金、後期高齢者医療負担金・繰出金はそれぞれ特別会計に繰り出しているか。
- 答** 国保については、事務費等法定内繰出と保険基盤安定負担金を国保特別会計に、後期高齢者医療については療養給付費等を熊本県後期高齢者医療広域連合負担金として、市後期高齢者医療特別会計は、事務費と保険基盤安定拠出金を一般会計から繰り出している。



現地調査の様子